

人材紹介派遣のマックス・コンサルティンク

個人情報保護研修、日本で開始

人材紹介派遣のマックス・コンサルティンクは、企業研修会社大手のトラストマネージメント社（塩井治郎・最高経営責任者（CEO）と業務提携し、日本国内での個人情報保護研修サービスを開始した。

漏えい、歯止めかからず

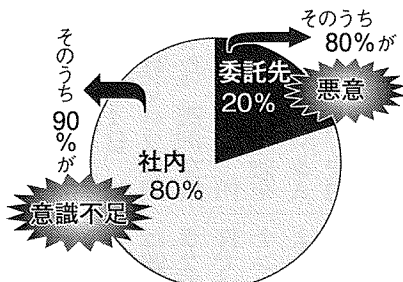
企業を取り巻く法律や規則は多く存在し、自主的に内部統制システムの構築に取り組む企業が増えていくにもかかわらず、個人情報漏えいに歯止めがかからない状況。最近では、大手人材派遣会社からの派遣スタッフが、雇用先の46万人の会員情報を持ち出し流出させた事件が世間を驚かせた。

従業員の監督義務として、個人情報取扱事業者は、その従業者に個人データを適切に扱わせるに当たり、適切な監督を行わなければならない。さらに、個人情報に関する法

律の中でもうたわれている。

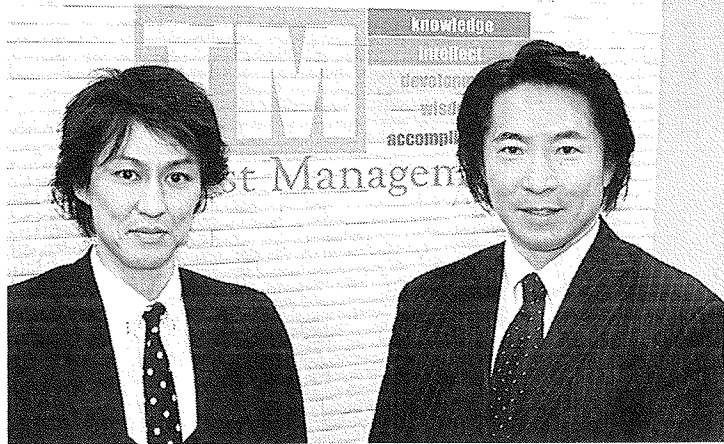
このような漏えいは、パート、アルバイトから漏れるケースが多く、経営者側と従業者側のマイナードギャップを解消しなければ、歯止めをかける

漏えい事件の割合



※情報提供：トラストマネージメント

（左から）トラストマネージメントの塩井治郎CEOとマックス・コンサルティンクの名倉学・代表取締役



ことは難しい。

同社が提供する個人情報保護研修では、一人一

プロの講師陣が教育 一人一人の意識に変革

人の意識に変革をもたらすことを目的に、日本プライバシーコンサルタンツ協会（JPCA）認定プライバシーシニアコンサルタントや個人情報保護監査士、プライバシーマーク（Pマーク）コンサルタントなどのプロフ

エッショナルな講師陣が、具体的なケーススタディーを用いた「納得感」ある教育を行う。単なるリスクヘッジから従業者の「モラル向上」により、社会的信頼の獲得にもつながる。

また、一定の条件を満たしていれば、国から雇用調整助成金として研修、検定のため助成金も支給される。すでに、国内小売業大手が従業員、出入り業者約3000人を対象に研修を実施しているほか、コールセンター、人材派遣会社などさまざまな業種で導入を開始している。

年内には在米 日系企業でも

現在は日本国内のみでの研修にとどまるが、年内には在米の日系企業を対象にサービスを提供する予定。

【問い合わせ】

マックス・コンサルティンク 研修事業部
電話・212・949・6660